

最上川200kmを歩く

7月2日(土)舟形町立富長小学校4～6年生12名が、『最上川200キロを歩く 小学校探検リレー』の第9週で鳥越出張所管内の6.5kmを歩きました。

山形新聞・山形放送主催で、次代を担う子供たちに母なる川「最上川」が育んできた歴史や文化、自然環境について学んでもらう機会として毎年実施されています。

今回は、大蔵橋から合海排水樋管、古口大橋及び古口排水機場まで歩きながら、職員及びゲスト講師から河川施設及び維持管理、水防活動などを体験的に学び、水質調査を行いました。参加した子供たちには、最上川の美しさ、自然の恵みを体感してもらえたと思います。

富長小学校のみなさん、お疲れ様でした！！



出発式「頑張って歩くぞ～！オーッ！」



清水排水樋管にてゲート操作を体験☆



東日本大震災の際にも大活躍した「排水ポンプ車」の威力にびっくり！！



水質調査

最上川の水の透明度をみんなで測ってみよう♪ (本合海橋下流にて)



頑張れ～！！！！

暑さに負けず元気に歩く富長小学校の児童



草刈り体験

草刈り機の遠隔操作を体験！

安全利用点検！

7月13日(水)夏休み前に実施！

夏休みに人が集まる水辺の施設について、安心して施設を利用していただけよう、関係行政機関や地域の方々と合同で点検を実施しました。

〈点検実施箇所〉

- 河川公園(舟形町舟形地内)
- 船着場(大蔵村稲村地内ほか3箇所)
- 古口排水機場(戸沢村古口地内)

点検の結果、危険や支障が確認されませんでした。河川を利用する際には安全に配慮されますようお願いいたします。



点検実施状況
写真上:河川公園
(舟形町舟形地内)
写真右:船着場付近
(新庄市本合海)



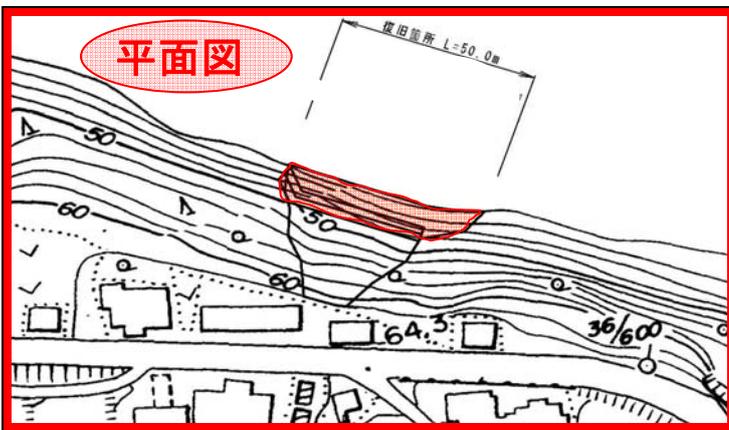
舟形町実栗屋地区での緊急復旧工事が完了しました！！

平成23年6月23日から大雨と7月1日夜からの降雨(6/23~7/2までの総雨量316mm)により、斜面が緩み、河川水位の急激な変動によって、舟形町実栗屋地区の最上川左岸で立木を乗せた土砂の最上川への崩れ落ちが発生しました。

河岸が幅50m高さ17mにわたり崩壊し、崩壊の上端は家屋まで2.5mと迫り、主要地方道大石田・畑線にも近接しているため、緊急的な対策が必要と判断し、緊急復旧事業を申請し、7月4日16時30分より工事に着手しました。

下流から工事用道路を新設し、河岸の脚部を安定させるため、崩壊した土砂を撤去して、砕石1,768^m及び砂防工事に備蓄していた根固めブロック236基の搬入・設置し、現場条件の厳しいなか、19日16時をもって緊急工事を完了しました。

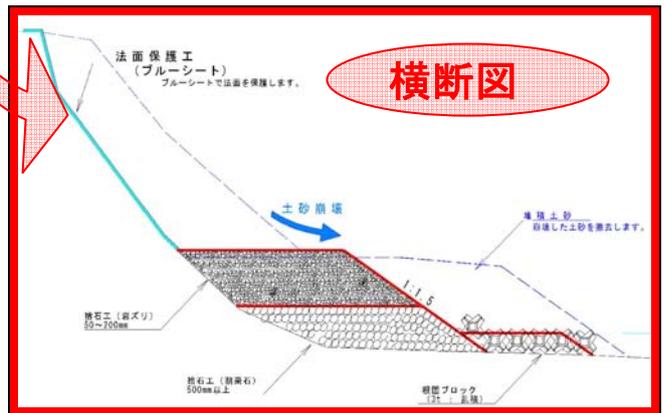
※なお現在、本復旧として崩落箇所を護岸工を設置するとともに、崩れた河岸を整形・安定化する「直轄河川災害復旧事業」を申請中です。



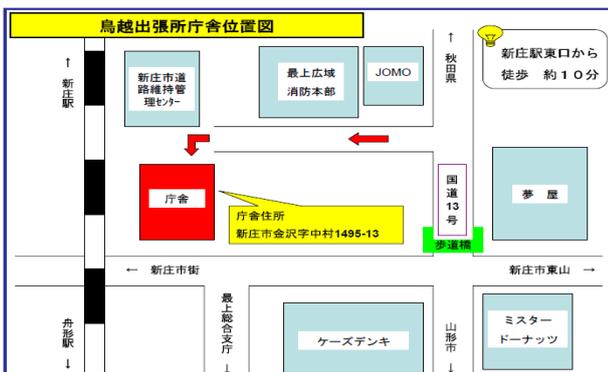
緊急復旧着手前



緊急復旧完了後



横断面図



新庄河川事務所 鳥越出張所

〒996-0002 新庄市金沢字中村 1495-13
 (TEL)0233-22-6038 (FAX)0233-22-0083
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

ご感想や、河川に関するご意見や情報等
 ありましたらお気軽にお寄せ下さい(´▽`)